

ご挨拶

第 27 回 東関東ストーマ・排泄リハビリテーション研究会

会長 小杉 千弘

帝京大学ちば総合医療センター外科 准教授

清秋の候、秋の訪れとともに涼しくなってきましたが、ますますご隆昌のこととお喜び申し上げます。平素は格別なご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。この度第 27 回東関東ストーマ・排泄リハビリテーション研究会の会長を拝命し 2025 年 9 月 27 日に、青葉の森公園芸術文化ホールで開催させていただくこととなりました。

当院で本研究会を開催いたしますのは 2000 年に帝京大学医学部附属市原病院外科（現：帝京大学ちば総合医療センター外科）の和田信昭先生が会長をお務めになられて以来、25 年ぶりとなります。このような歴史ある本研究会を開催させていただけることは大変名誉であり光栄に存じます。

今回の研究会テーマは「次世代につながるストーマ・排泄・リハビリテーションケアにおける研究会の役割」といたしました。その意図するところは、本研究会参加者が本研究会で得た知識を、今後より良いケアを患者様に提供することを担う次世代の医療スタッフへと繋げていくことができているかどうかを、外科、肛門科、泌尿器科の医師、および病棟ならびに外来看護師、薬剤師、理学療法士などの多職種それぞれの治療者が研究会を通して語り合っていたきたいという主旨でございます。

本研究会の世話人の先生方、ならびに会員の皆様のご協力で多数の演題をご応募していただきました。この場で略儀ながら御礼申し上げます。本研究会のご参加の皆様にあたりましては、演題や講演においての熱きディスカッションに参加していただき、今後の診療に役立つ知識を高められる事を期待いたします。

最後になりましたが、本研究会を開催するにあたり、ご指導ご支援いただきました皆様方に心から御礼申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

開催日時：2025 年 9 月 27 日（土） 10：00～16：15

会場：青葉の森公園芸術文化ホール

参加費：1,000 円（事前登録不要 当日参加受付）

学生の方は参加費無料です。学生証をご提示ください。

受付：9 時～

内容：一般演題/特別講演・教育講演/ランチョンセミナー/企業展示

お問い合わせ：第 27 回東関東ストーマ・排泄リハビリテーション研究会事務局

帝京大学ちば総合医療センター 塚越美典

Email：higashi27@teikyo-u.ac.jp

TEL：0436－62－1211

第 27 回 東関東ストーマ・

排泄リハビリテーション研究会

プログラム

2025年9月27日(土)

開会のあいさつ

10:00～10:05

第27回会長 小杉 千弘 (帝京大学ちば総合医療センター 外科)

一般演題 I

10:05～10:45

座長：栃木 透 (千葉大学大学院医学研究院 先端応用外科学)

浜野 克弥 (順天堂大学医学部附属浦安病院 看護部)

演題 1 人工肛門周囲膿瘍を形成し、治癒に難渋した一例 ～多職種でケアを考える～

帝京大学ちば総合医療センター 中村 好美

演題 2 A 病院におけるストーマ造設患者の現状と課題

医療法人社団 誠馨会 千葉メディカルセンター 小泉 かおり

演題 3 ストーマサイトマーキングにおける腹直筋外縁部の位置確認の現状と課題

～触診の位置とCT画像との比較検討～

千葉大学医学部附属病院 柳橋 美幸

演題 4 当院直腸癌手術時の一時的回腸人工肛門造設術の短期成績

千葉県がんセンター 平澤 壮一郎

一般演題Ⅱ

10:55～11:35

座長：外岡 亨 （千葉県がんセンター 食道・胃腸外科）

岩谷 有希 （亀田総合病院 看護部）

演題5 セルフケア確立よりも、その人らしく生活することを優先し看護介入を行った一例

筑波メディカルセンター病院 角田 実咲

演題6 ストーマパンフレットを見直したことが、ストーマケア指導する看護師に及ぼした
影響

船橋市立医療センター 坂田 美穂

演題7 自己導尿指導マニュアルの作成と評価 ～統一した指導を目指して～

帝京大学ちば総合医療センター 渡邊 明美

演題8 回腸導管ストーマの傍ストーマヘルニアに対して Keyhole 法を施行した2例の経験

帝京大学ちば総合医療センター 碓井 彰大

ランチョンセミナー

12:00～13:00

（共催：ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社）

座長：松本 寛 （新東京病院）

「大腸癌領域における働き方改革と若手教育の両立

～ロボットと Fusion Surgery そして AI の活用～」

千葉大学大学院医学研究院 先端応用外科学

丸山 哲朗

休憩 / 展示ブース紹介

13:00～14:00

(世話人会：13:05～13:40 会議室)

特別講演

14:00～14:30

座長：小杉 千弘 (帝京大学ちば総合医療センター 外科)

鈴木 由加 (千葉県循環器病センター 看護部)

「低位前方切除症候群 (LARS) と向き合う

～患者と医療者が共に創る支援と連携の未来～」

国際医療福祉大学病院 消化器外科

榎本 浩也

教育講演

14:35～15:05

座長：山田 圭一 (筑波メディカルセンター病院 消化器外科)

入江 昭子 (帝京大学ちば総合医療センター 看護部)

「がん薬物療法に伴う皮膚障害とアピアランスケア

～薬剤師の立場から～」

帝京大学ちば総合医療センター 薬剤部

箆 陽香

一般演題Ⅲ

15 : 15 ~ 15 : 55

座長：夏目 俊之（船橋市立医療センター 消化器外科）

小野田 里織（筑波メディカルセンター病院 看護部）

演題 9 尿管非浮浪部結節が Sweet 病と診断された一例

帝京大学ちば総合医療センター 岡 龍司

演題 10 ストーマ造設患者の皮膚障害の実態から看護師の介入を振り返って

～適切な処置を指導する事による変化～

総合病院土浦協同病院 大槻 玲奈

演題 11 右片麻痺患者のストーマセルフケア取得に向けた看護介入を振り返って

筑波大学附属病院 恩田 実和

演題 12 高齢ストーマ保有者への病棟・退院支援看護師らの連携した退院後訪問指導の実践

船橋市立医療センター 大塚 眞由美

閉会

16 : 00 ~ 16 : 15

最優秀演題賞表彰

次期会長挨拶

第28回会長 山田 圭一（筑波メディカルセンター病院）

閉会の挨拶

第27回会長 小杉 千弘（帝京大学ちば総合医療センター）